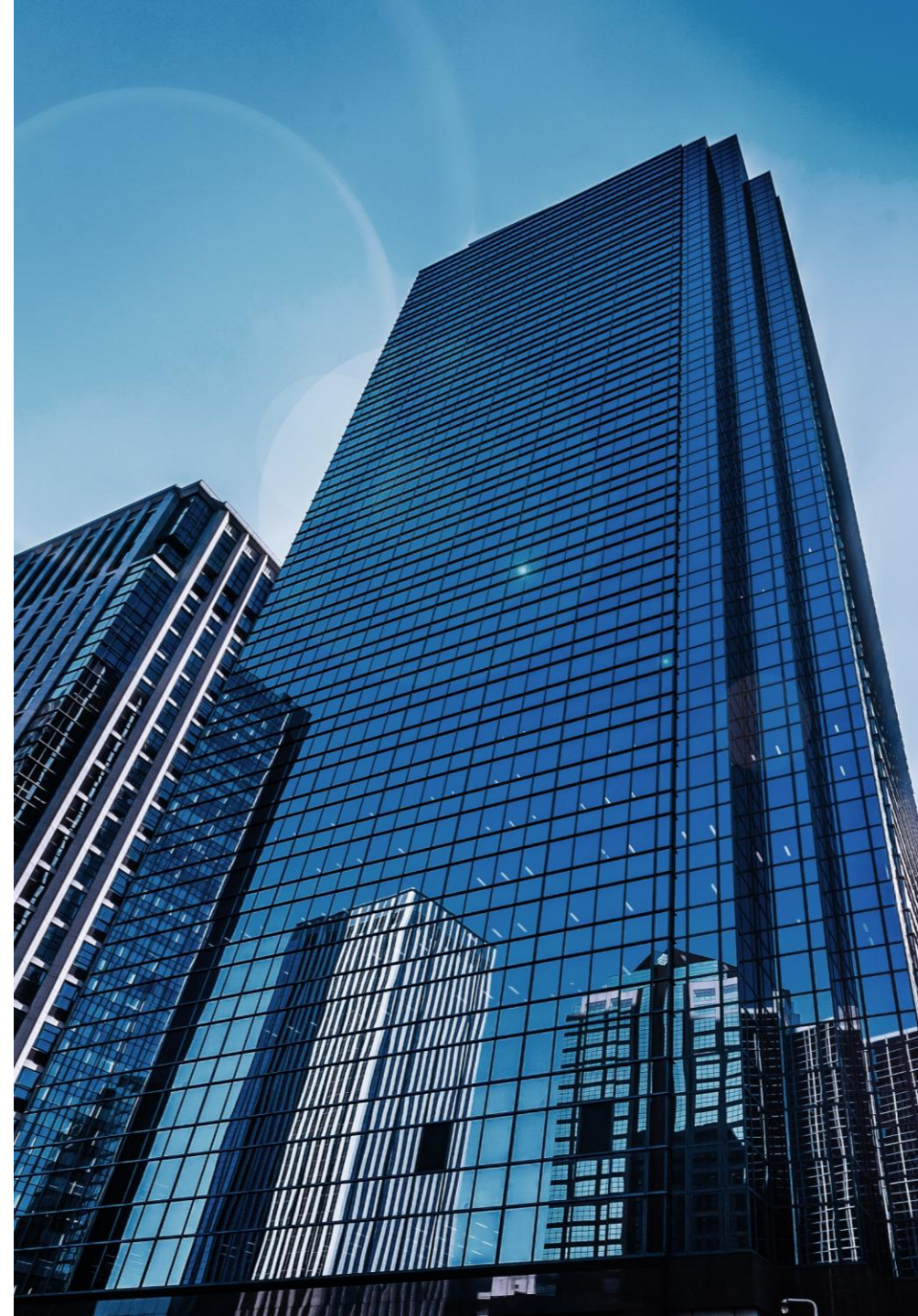


Legal Department Efficiency Consulting services

法務部業務効率化 コンサルティングサービス ご説明資料

この資料には、弊社に帰属する企業秘密および極秘情報が含まれています。本資料は貴社社内関係者のみによって使用されるものとし、本資料のいかなる部分についても、Authense Consulting株式会社の書面による承諾を得ずに、回覧・引用・複製、あるいは貴社外部に配布してはならないものとします。





Mission

ミッション

日本の競争力を高め、
輝く未来を創る

Authense Consulting株式会社は法務専門コンサルティングファームです

会 社 名	Authense Consulting株式会社
代 表 者	代表取締役 元榮 太一郎 弁護士ドットコム株式会社 代表取締役社長 兼 CEO
所 在 地	〒107-6222 東京都港区赤坂9丁目7-1 ミッドタウン・タワー22階
事 業 内 容	・ 法務部業務効率化コンサルティング事業 ・ 法務部業務アウトソーシング事業



Relationship





代表取締役

元榮 太一郎 Motoe Taichiro

弁護士ドットコム株式会社 代表取締役社長 兼 CEO

1998年慶應義塾大学法学部法律学科を卒業。1999年に司法試験に合格し、司法修習を経て2001年にアンダーソン・毛利・友常法律事務所に入所。2005年に独立し、元榮法律事務所（現：弁護士法人Authense法律事務所）を開所。同年、オーセンスグループ株式会社（現：弁護士ドットコム株式会社）を創業する。

2014年に弁護士ドットコム株式会社が株式上場（東証マザーズ）し、創業者として会社経営を行う一方、2016年には第24回参議院議員通常選挙で千葉県選挙区から自民党公認候補として立候補し当選。2020年からは菅義偉内閣において財務大臣政務官。2021年からは参議院文教科学委員長として、内閣又は立法府の一員として国家運営に携わる。

2022年の参議院議員任期満了後は、民間から日本の成長を牽引する必要を改めて感じたこともあり、再び企業経営に専念。弁護士法人を中心に専門家法人が連なるAuthense Professional Groupを立ち上げ、法務専門コンサルティングファームAuthense Consulting株式会社を創業、代表を務める。



執行役員 コンサルティング事業部長

秋枝 克実 Akieda Katsumi

保有資格 認定スクラムマスター (Certified ScrumMaster®)

#業務プロセス再構築 #ITグランドデザイン
#DX戦略リード(DX: Digital Transformation) #ITサービス戦略
#ITサービスロードマップ #RFP作成

Slerでシステム開発業務および業務プロセスの再構築等のITコンサルティングに従事。その後、外資コンサルティングファームを経て、電通グループにてマーケティング領域の企画・構想、実行支援および新規サービスの構想・計画からリリース、サービスの利用拡大までの全てのフェーズを幅広く支援。

新規事業や新たなデジタルサービスを提供するために法務関連の課題解決の必要性を痛感。2024年8月から現職、企業の法務領域の課題解決を通じて企業価値の毀損を防ぐだけでなく、企業価値の向上を支援するためにコンサルティングサービスを責任者として担当。

メディア実績

“二兎を追って三兎も得る！？「デジタルサービス開発×業務効率化」の話”

電通報, 2023/04/14, <https://dentsu-ho.com/articles/8535>

“マイクロソフト「Copilot」の衝撃 生成AI時代のマーケティング”

日経BP, 第3章



LPO (Legal Process Operations) 事業部長

小島 直明 Kojima Naoaki

#アウトソーシング #BPR・DX #組織統合
#業務可視化 #業務プロセスマネジメント
#人財育成・研修 #内部統制

2010年3月成城大学文芸学部を卒業後、大手FMCGメーカーにて法人営業、マーケティングに従事。研修事業会社トレーナー職、BPO事業会社コンサルティング職を経て独立、2022年に株式会社ライストンコンサルティングを国税局出身の税理士と共に設立、共同代表を務める。2024年12月よりAuthense Consultingへ合流。

BPO事業会社勤務時代に自身の立ち上げた「業務の見える化サービス」の提供を通じ、日本企業の抱える人財確保・生産性向上・バックオフィス職の将来等の課題を年間20社を超える現場の改善PJTで痛感したことから「三方良し」のBPR・DXを自身の理念に掲げて活動。現在は企業の持続的成長、価値向上を支援するためコンサルティング提供とアウトソーシングサービスの責任者を担当している。

2024年12月Authense Consulting株式会社にLPO事業部長として入社。研修講師としての経験やBPO事業会社における業務アセスメント、業務プロセスマネジメント、DX改革等の知見を活かしクライアント企業の業務課題解決およびAuthense Consulting株式会社の提供するアウトソーシングサービスの設計・構築を担当。



マネジメントディレクター

松浦 啓太 Matsuura Keita

#IPO #経営管理 #内部統制

2004年3月京都大学法学部卒業。2004年4月にUFJセントラルリース株式会社（現：三菱HCキャピタル株式会社）入社、法人営業、事務企画、営業企画に従事。2009年1月株式会社エスクリに入社し、東証マザーズ上場から東証一部指定替えまでのプロジェクトの中心的役割を果たす。その後、株式会社エス・エム・エスを経て、2013年8月にオーセンスグループ株式会社（現：弁護士ドットコム株式会社）に入社、管理部門のマネージャーとして東証マザーズ上場を果たし、その後、2015年10月より執行役員、2019年6月より取締役就任し、管理部門を統括。2022年6月に退任したのち、現在は、複数の会社の経営管理体制強化・IPO準備を顧問・アドバイザーとして支援している。

2023年9月Authense Consulting株式会社にマネジメントディレクターとして参画。前職でのIPO準備経験、予算統制、法務部門統括などの経験を活かし、Authense Consulting株式会社の事業計画管理の支援、および、コンサルタントとしてIPO準備コンサルティング事業の支援などを実施している。



コンサルティング事業部 マネージャー

小松澤 達樹 Komatsuzawa Tatsuki

#業務プロセス再構築 #業務可視化
#システム導入支援 #DX推進(DX：Digital Transformation)
#PMO #オブショア活用

大学院修了後、新卒で外資系ITベンダーに入社し、人事領域におけるSaaS製品の導入支援に従事。要件定義から運用支援に至るまで、一貫したプロジェクト推進を経験。外資系コンサルティングファームへ転じ、AIを活用した業務高度化の検討、PoC推進、業務プロセスの可視化および業務プロセスの再構築支援等を通じ、クライアントの業務改革に寄与。その後、ベトナム発のコングロマリット企業グループにおいて、新規事業の立ち上げ支援やオフショア開発を活用したシステム導入プロジェクトをリードし、プロジェクト完遂および成果創出に貢献した実績を有する。

新規事業立ち上げに際して直面した属人的な業務運営や人員不足による業務負荷の増大、ならびに業務進捗の遅延といった法務関連業務の課題への問題意識を契機に、2025年4月よりAuthense Consulting株式会社へ参画。これまでに培った知見と経験を活かし、顧客課題の解決を通じた企業価値向上に資するコンサルティングサービスの提供に取り組む。

法務部門へのヒアリングで多かったお悩み

パートナー機能も発揮したいけど、まずは足元の課題をどうにかしたい…

お悩み

事業拡大や急な退職で人手が足りないが
業務の外注先が限られコストが高い

お悩み

契約審査のナレッジが形式知化
されておらず後任に引き継げない

お悩み

契約締結のリードタイムが長く
契約が翌月になり売上計上と入金が遅れた

お悩み

多くのリーガルテックツールから
自社に最適なものがわからず導入と運用に不安

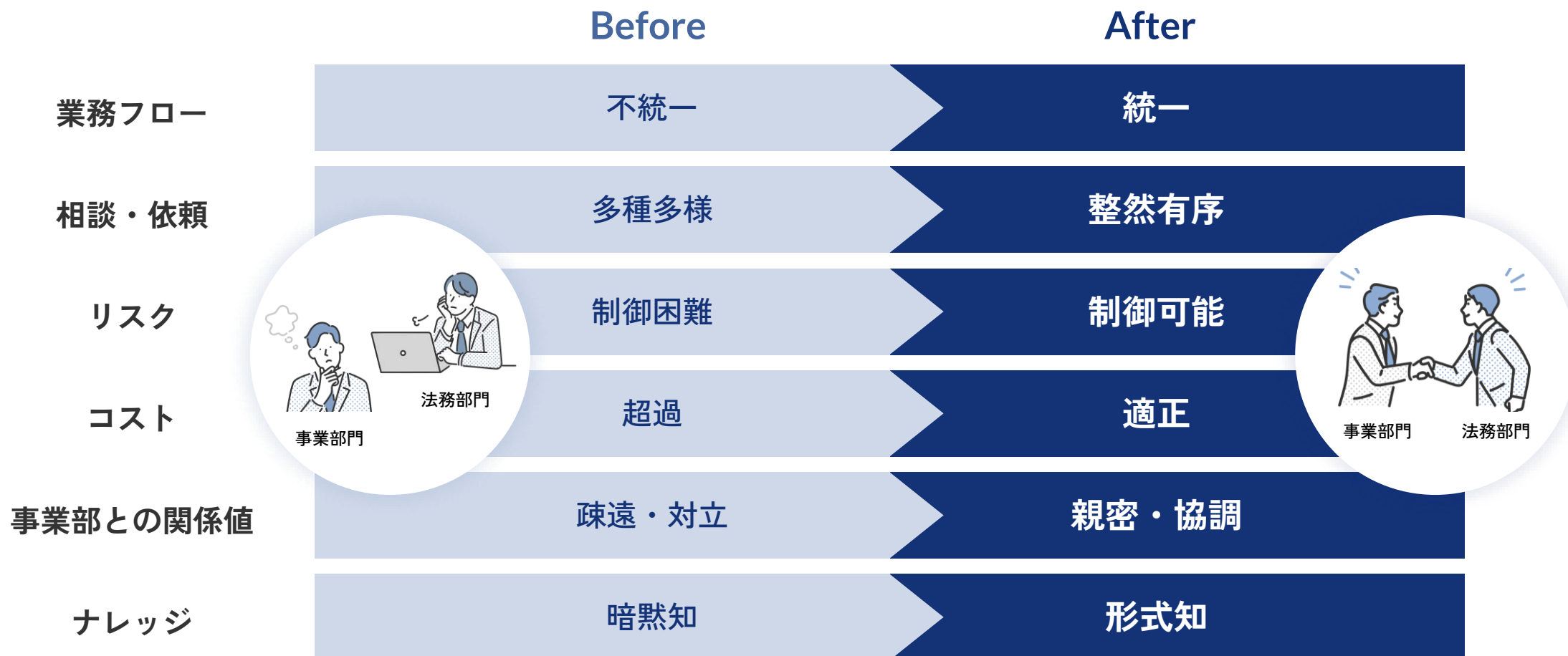


法務部門は人手不足のため、課題解決したくても手が回らない

そんな状況を解決するために生まれたのが…

契約審査業務プロセスの改善とリーガルテックを含めたIT導入から定着を支援するサービス

- ✓ 契約審査業務に関わる作業量が軽減され、法務部門の人手不足解消が図れます。
- ✓ 事業部門も巻き込んだナレッジ共有とフロー改善で契約締結のリードタイムを短縮。売上の早期計上とキャッシュフロー改善に寄与します。



忙しい法務部門に代わり、全社レベルの改善策検討や契約審査基準策定を支援
ツールの選定から導入後の定着支援も実施します

Point 01

契約審査業務の改善案を策定



業務効率化専門のコンサルタントが法務部門だけでなく事業部門へのヒアリングも実施。契約審査業務全体を評価し、改善案を策定

Point 02

契約審査の自社基準策定を支援



法務部門に寄せられる相談事を類型化し、契約審査の自社基準策定を支援。事業部門が最新の手法にアクセスできるよう社内周知も支援

Point 03

ツールベンダやIT部門との調整



課題解決に向けて、最適なツールの選定や導入に向けた社内IT部門との調整を代行。導入後にツールを最大限活用できるよう現状フローを考慮した定着支援を実施。予算確保のための上申資料の作成も支援

契約締結のリードタイムが短縮されキャッシュ・フローが改善
法務部門は業務が効率化され注力したい業務へのリソースをシフトを実現

Merit 01

契約締結リードタイムが短縮

全社の契約審査プロセスの改善により、
契約締結までのリードタイムが短縮、取引の早期化と内部コストの削減により
キャッシュ・フローが改善します

- ・ 契約締結までのリードタイム短縮によるキャッシュ・フロー改善効果の試算
- ・ 現状の契約審査フローと改善後フローが見える化

Merit 02

ツール導入やアウトソースが容易に

契約審査プロセスを標準化することで全社でのリーガルテックツールの導入やアウトソーシングが容易になり業務効率が向上します

- ・ 契約審査プロセスを標準化
- ・ 効率化を実現するためのシステム化要求事項を整理
- ・ ツールの比較・一次評価結果を提示

Merit 03

相談対応の負荷軽減

契約審査基準の策定支援を通じて暗黙知を形式知化し全社に共有することで、事業部門と法務部門の双方の相談対応負荷を軽減します

- ・ 属人化している暗黙知が見える化
- ・ 契約書の自社審査基準を継続的に更新できる仕組みを構築

Case **01** 業種 大手IT企業 従業員数 1,000人超 対象 法務部

契約審査業務プロセス改善支援

課題

電子契約移行において、紙の契約書を前提とする法規制に抵触するリスクを懸念。候補となる複数のサービスをどのような観点で比較検討すればよいか分からない。実際の運用で社内ルールとの齟齬が生じた場合の対応に不安がある。

実施したこと

- ✓ 電子契約サービス導入のためのフロー構築、導入・定着支援
- ✓ 各電子契約サービスにおけるリーガルリスク検証
- ✓ 導入後のフロー改善支援

成果

マニュアルとしてまとめるべき事項の選定まで含めた定着支援を行ったことで、電子契約の手順が適切に周知され、よりスムーズな契約締結プロセスを実現

Case **02** 業種 知財関連企業 従業員数 300人超 対象 総務部

契約審査業務プロセス改善支援

課題

法務機能を担う数少ない担当者の離職リスクに備え、属人化解消が急務。一定の契約審査プロセスはルール化されているが各事業部で独自のプロセスが存在し統一ができていないことでリーガルテックツール導入が困難。コミュニケーションチャンネルが複数存在し意思疎通の負荷も高い。

実施したこと

- ✓ 現状の契約審査プロセスをヒアリングし見える化
- ✓ 課題の深掘りとツール活用も含めた標準化
- ✓ クライアント社内との関係部署との調整

成果

法務相談から承認までの契約審査プロセスを再定義。リーガルテックツールの導入も実施し業務負荷を軽減。主担当退職後も欠員補充せず3名から2名体制に移行し、契約リードタイムは3日短縮

Case **03** 業種 メガバンク 従業員数 10,000人超 対象 リテール・デジタル企画部

法務コンプライアンス支援/新規事業立ち上げ支援

課題

プラットフォームサービスの立ち上げにおける法的観点とユーザー視点の両面からの知見が必要。適切な内容の利用規約の整備や個人情報の取扱いなど、法的にクリアにしなければならない課題が多数存在。

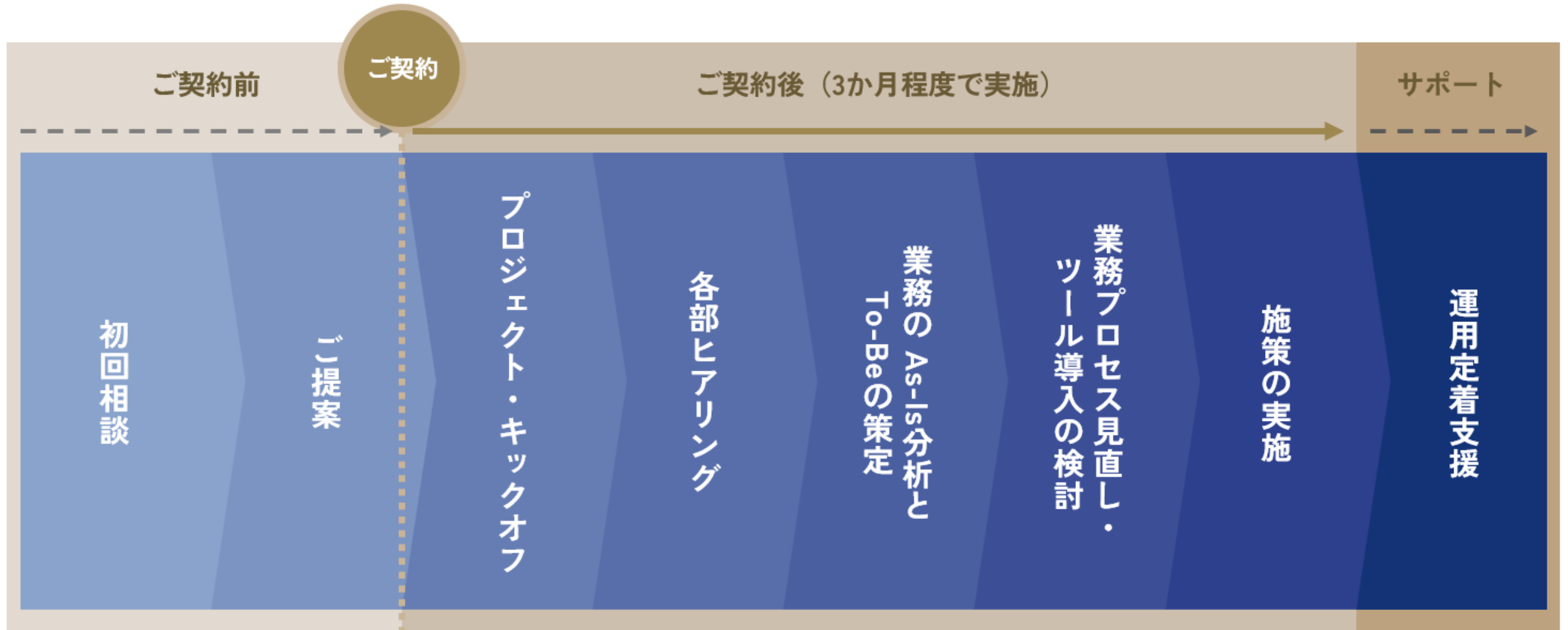
実施したこと

- ✓ プラットフォーム立ち上げに企画段階から参画、法的・ユーザー視点の両面からローンチをご支援
- ✓ グループ法人が有する知見を活用し徹底的な分析を行い、新規事業の円滑な立ち上げ・サポート

成果

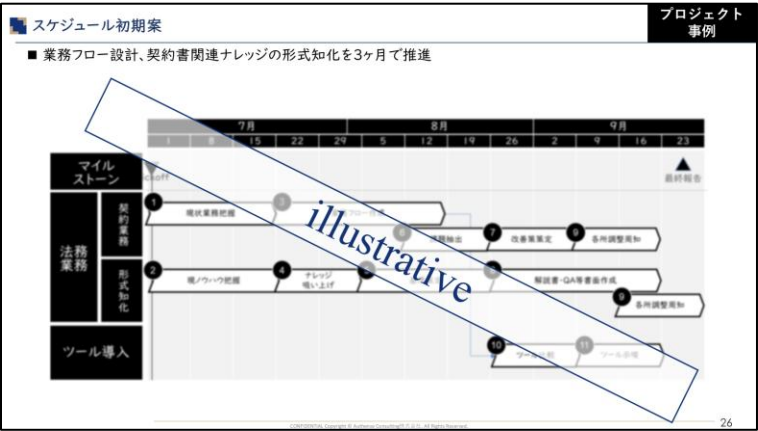
コンテンツ作成から利用規約策定、ローンチ時の注意点まで、専門家視点から包括的にご支援。法律以外の業界倫理にも配慮したアドバイスを実施。ネットワークを活用し、サービスの基盤を構築。

改善の機運を醸成するために、短期間で成果を実感できるよう
 全体のプロジェクトを組み立て初期プロジェクトは3か月程度をご提案します



ヒアリングシート	各部の担当者にヒアリングするための質問事項の一覧
ヒアリング用業務フロー図	各部の担当者にヒアリングするための業務フローイメージ
課題一覧	プロジェクト開始時に顕在化している課題にヒアリングから得られた課題を加えた課題一覧
現状の業務フロー図	現状の業務フローイメージ
打ち手仮説	課題に対する改善案の仮説
課題一覧と対応優先度評価一覧	各課題の優先順位を評価
改善施策一覧	初手として何を実施すべきか、中長期的にどこまでの対応を視野に入れるか改善案をまとめた一覧
システム化要求事項の一覧	初手として実施すべき対応のうち、システムとして実現したいことの一覧
見直し後の業務フロー図	課題に対処するために見直した後の業務フローイメージ
抽出したナレッジの一覧	有識者からヒアリングした契約審査のナレッジの一覧
契約書審査自社基準	過去の契約締結内容および法務担当への相談内容を整理し契約書審査時の基準案としてまとめたTips
簡易評価	リーガルテックツールの簡易評価結果
各種上申・社内説明資料	リーガルテックツール導入に伴う社内説明用の資料
プロジェクトスケジュール	プロジェクト全体のスケジュール
各お打ち合わせ資料	各定例でのディスカッションペーパー

プロジェクトスケジュール



契約審査自社基準

プロジェクト事例

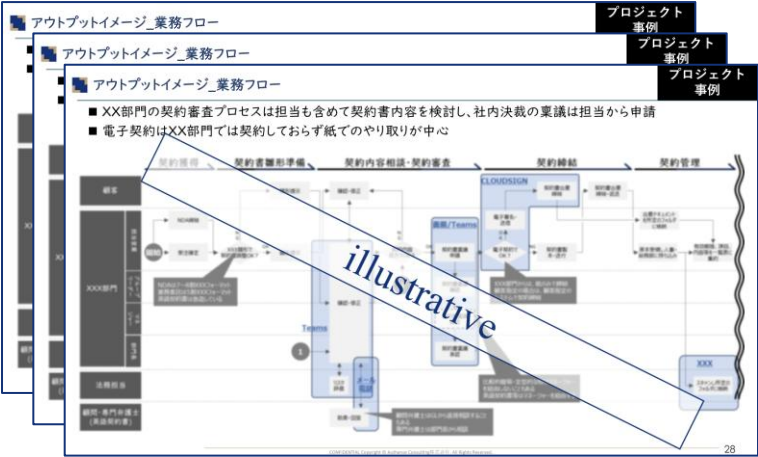
アウトプットイメージ_契約審査自社基準

■ 既存契約書の条項に対して基本的な考え方を示し、基準から外れる場合の対処方法を明示

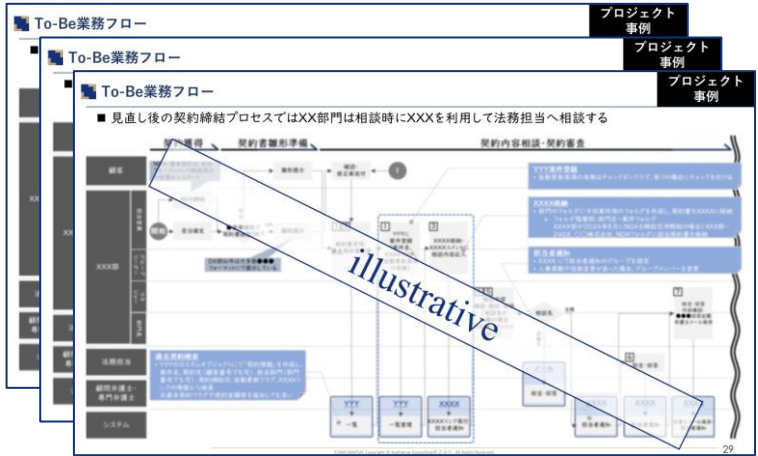
契約の種別	条項・種別	種別	備考
XXX契約	第1条(システムウェアの提供)	契約に合致した条項内容になっているか	
	第2条(業務の遂行)	条項内容が条項内容に必要範囲で可能なか	
	第3条(報酬及び費用)	条項内容が条項内容に必要範囲で可能なか	
	第4条(再委託)	再委託は可能なか	
	第5条(権利の帰属等)	権利の帰属は明瞭になっているか	

27

現状の各部業務フロー



見直し後の各部業務フロー



課題一覧と対応優先度評価

プロジェクト事例

アウトプットイメージ_課題一覧

■ ヒアリングを通じて抽出した課題に対し対策をシステムと運用を含め検討したい

カテゴリ	課題内容	発生頻度	影響度	評価
契約プロセス	契約書の送付・承認・締結までの改善案を検討困難	契約書の送付・承認・締結までの改善案を検討困難	高	高
	契約部門に関する契約の進捗・結果までのやり取りが煩雑	契約部門に関する契約の進捗・結果までのやり取りが煩雑	高	高
	契約の管理情報が隠れていることの認知が困難	契約の管理情報が隠れていることの認知が困難	高	低
	法務担当への問い合わせの対応が遅い	法務担当への問い合わせの対応が遅い	高	高
	スキャンした原本を探すことが困難	スキャンした原本を探すことが困難	高	中
審査品質	リスクに対する事業部門としての判断が把握困難	リスクに対する事業部門としての判断が把握困難	高	高
	最終版の契約書の電子データが取得困難	最終版の契約書の電子データが取得困難	高	低
	表記のゆれや体裁の不備	表記のゆれや体裁の不備	高	高
	契約書内容の確認程度が不一致	契約書内容の確認程度が不一致	高	中
	過去に相談内容を活用することが困難	過去に相談内容を活用することが困難	高	高
その他	現場が利用しやすいガイドラインを提供	現場が利用しやすいガイドラインを提供	高	高
	人事異動時のアクセス制御の実現	人事異動時のアクセス制御の実現	低	中

Copyright © Ashtree CyberTech Co., Ltd. All Rights Reserved.

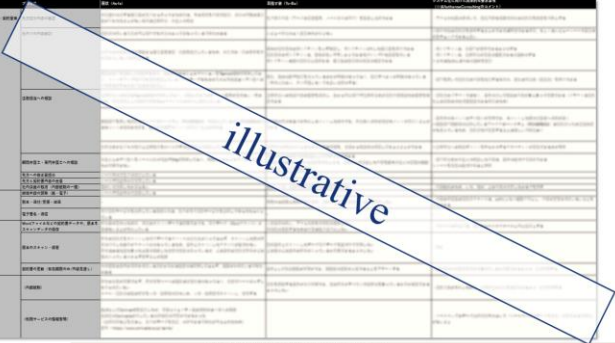
33

システム化要求事項

プロジェクト事例

アウトプットイメージ_AsIs/ToBeの整理と要求事項の一覧

■ ToBeを実現するために仕組みとして実現したい要求事項を整理し、IT部門へ連携



カテゴリ	AsIs (現状)	ToBe (目標)	対応策 (対策)
契約プロセス	契約書の作成・承認・締結のフローは、紙ベースで行われており、承認が遅延しやすい。	契約書の作成・承認・締結のフローを自動化し、承認を迅速化する。	契約書の作成・承認・締結のフローを自動化するためのシステムを導入する。
審査品質	契約書の審査内容がバラバラであり、品質が不安定である。	契約書の審査内容を標準化し、品質を向上させる。	契約書の審査内容を標準化するためのガイドラインを作成する。
その他	人事異動時のアクセス制御が適切に行われていない。	人事異動時のアクセス制御を自動化し、セキュリティを強化する。	人事異動時のアクセス制御を自動化するためのシステムを導入する。

Copyright © 2017. All Rights Reserved.

34

プロジェクトの期間や内容に応じた御見積となるため詳しくはお問合せください。

以下はサービスご利用の一例です。



業態	従業員数	法務担当者
サービス業 (非上場)	300名	3名

プロジェクト期間 3か月 費用 450万円

課題

これまで契約審査業務を3名で実施していたが主担当1名の退職が確定した事から属人化しているナレッジを早急に共有し、残2名で契約審査ができる体制にする必要があった。

プロジェクトゴール

全社契約審査業務フローを改善し、契約審査におけるナレッジ共有を仕組み化する

成果

主担当退職後も欠員補充せず3名から2名体制に移行。

契約リードタイムは3日短縮 ※試算値

✓ 全社契約審査フロー
の改善

✓ 契約審査自社基準
(プレイブック)策定支援

✓ 契約書管理
テックツールの導入

ご覧いただきありがとうございます
お問い合わせは以下の宛先までお願いいたします



Authense
Consulting 株式会社

Authense Consulting株式会社

担 当 秋枝 克実

連絡先 contact@authense-consulting.co.jp